

## 関東地域アライグマ防除モデル事業調査について

## 【目的】

本調査は、モデル事業として、県境をまたがり広域分布し、生態系や農業に被害を及ぼしているアライグマを対象として、神奈川県を中心に隣接する東京都及び山梨県を含め、効果的な防除手法及び地域間の連携方策の検討を行い、その成果をマニュアルとしてとりまとめ、各地方公共団体の適切な計画的防除に資することを目的とする。

## 【実施期間】

平成 17 年度から 19 年度までの 3 ヶ年

## 【実施内容】

## 1. 分布及び被害状況の把握

神奈川県、東京都及び山梨県等におけるアライグマの分布を明らかにするため、文献、目撃情報、繁殖情報、農業被害及び有害鳥獣捕獲等の情報を収集整理する。

## 2. 広域的な防除計画の検討

## (1) 調査地域の設定

生息状況及び農業被害状況を踏まえ、低密度であるが分布が拡大している地域（神奈川県相模原市及び東京都町田市）、高密度に分布し生態系に被害を与えている地域（神奈川県葉山町）、2ヶ所を選択し、実地検証を行う。

神奈川県相模原市及び東京都町田市

- ・ 生息状況および被害状況の把握
- ・ 効果的な防除手法の検討（目撃情報収集、足跡トラップやカメラトラップによるモニタリング、ワナ設置方法）
- ・ 捕獲実証試験の実施

神奈川県葉山町

- ・ サンショウウオ食害防止
- ・ アライグマ行動圏把握
- ・ 一定地域からのアライグマ完全除去
- ・ 侵入モニタリング

## (2) 広域的な防除計画とマニュアルの作成

上記をもとに、自治体が連携して計画的防除を行うための課題を整理し、一定範囲からの排除と分布拡大防止を含む広域的防除の計画及びマニュアルを作成する。

### 3. 検討会の設置

本調査の検討及び実施に当たっては、学識経験者、自然保護団体、動物愛護団体、関係都県から成る検討会を設置開催する。

#### 関東地域アライグマ防除モデル事業調査検討委員会

##### < 検討委員 >

安藤元一（東京農業大学）  
石井信夫（東京女子大学）  
池田 透（北海道大学）  
金田正人（生物多様性ジャパン）  
羽山伸一（日本獣医畜産大学）  
山口千津子（日本動物福祉協会）

##### < 関係機関 >

農林水産省関東農政局  
神奈川県 環境農政部緑政課  
相模原市環境保全部みどり対策課  
葉山町福祉環境部環境課  
東京都 環境局自然環境部計画課  
産業労働局農林水産部食料安全課  
町田市 環境・産業部農業振興課

##### < 事務局 >

環境省自然環境局野生生物課  
環境省関東地方環境事務所  
株式会社野生動物保護管理事務所